

一般社団法人山口県医師会令和2年度第16回理事会

11月19日（木）17時～19時6分

河村会長、今村・加藤両副会長、清水専務理事、沖中・中村・前川・郷良・河村・長谷川各常任理事、白澤・山下・伊藤・上野・藤原・縄田各理事、藤野・篠原・岡田各監事

協議事項

1 山口県医療保険関係団体協議会の提出議題について

オンライン資格確認に向けての各団体の対応、進捗状況等に係る議題を提出することを決定した。

2 停電情報に関するヒアリング調査について

（一財）電力中央研究所が行っている「災害情報共有プラットフォーム」の開発に必要な標記調査について、同調査の実施を受託している（有）山口ティール・エル・オーから協力依頼があり、本会役員の所属医療機関において協力することを決定した。

3 厚生労働行政推進調査事業費補助金「検体検査の精度の確保等に関する研究」への協力依頼について

日本医師会から、厚生労働省が実施する診療所における検体検査の精度管理に関するアンケート調査への協力依頼があり、本会役員3名が回答することを決定した。

4 母体保護法による指定医師の申請について

山口大学医学部附属病院からの母体保護法指定医師1名の申請について、本会会長の諮問を受けた「母体保護法指定医師審査委員会」により、指定医師として適格である旨の答申を得たことから、承認を決定した。

5 SBIRTS 普及促進セミナーの後援について

山口県精神保健福祉センター所長から依頼のあった標記セミナーの名義後援を承諾することを決定した。

6 医師会立検査センターに関するアンケート調査について

日医の医師会共同利用施設検討委員会の沖中委員が、会長諮問のテーマ「コロナ禍における医師会共同利用施設の在り方」に関するレポートを作成するための資料として、県内の4検査センターにアンケートを実施することを決定した。

7 令和3年度市町の施策・予算措置に対する要望について

原案の7項目のうち「乳幼児の医療費助成の拡充」について記述を詳しくすること及びがん検診の受診率向上に係る項目を追加することを決定した。

報告事項

1 山口県学校保健連合会表彰審査委員会（11月5日）

被表彰者の審査が行われ、本会推薦の1名を含む個人12名の表彰が決定した。

（河村会長）

2 郡市医師会労災・自賠責保険担当理事協議会・労災保険医療委員会合同会議

（11月5日）

公益財団法人労災保険情報センターから労災診療費の立替払い、講演・研修事業等について、山口労働局から労災保険法の改正点、労災保険レセプトのオンライン請求の普及促進等について説明が行われ、その後、郡市医師会からの意見要望についての協議、自賠責保険医療連絡協議会での事例結果報告等を行った。

（清水）

3 第2回かかりつけ医認知症対応力向上研修会（11月8日）

4人の講師により、かかりつけ医の役割、診断、治療及び連携と制度に関する講習並びにワークショップ形式による症例検討を実施し、受講修了者に修了証書を交付した。受講者45名。（伊藤）

4 児童虐待の発生予防等に関する研修会（11月8日）

山口県産婦人科医会と共催で開催し、山口県立総合医療センター総合周産期母子医療センターの佐世正勝センター長による「0日・0か月虐待死亡事例の検討」、下関市の(医)社団かねはら小児科の金原洋治院長による「生後早期から始める児童虐待予防」の2講演を行った。参加者は、医師、助産師、看護師等の医療関係者、心理士(師)、社会福祉士等の行政関係者ほか61名。（藤野）

5 山口県地域両立支援推進チーム第4回会議（11月9日）

治療と仕事の両立支援に係るアンケート結果、治療と仕事の両立支援のためのガイドライン等の周知及び治療と仕事の両立支援連絡帳の普及促進に向けた取組案と今後の課題等について協議を行ったほか、両立支援チームの各構成員における両立支援の取組状況について報告が行われた。（中村）

6 山口県国民健康保険運営協議会（11月10日）

令和元年度国民健康保険特別会計決算剰余金の使途、山口県国民健康保険運営方針の見直し等について協議を行った。（沖中）

7 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（11月11日）

令和2事業年度における予算及び決算（見込）の状況、役員選任の認可、地方単独医療費助成事業説明会等について報告が行われた。（河村会長）

8 衛生検査所立入検査「宇部」（11月12日）

2施設において、検査業務や事務作業等に関する事項の立入検査を実施した。
（沖中）

9 山口県医師臨床研修推進センター運営会議（11月12日）

令和2年度上半期の事業報告後、令和2年度医師臨床研修マッチングの結果、山口県（行政）の医師確保対策、山口大学医学部附属病院の取組みについて協議し、意見交換を行った。（中村）

10 周南地域メディカルコントロール協議会（11月12日）

当該地域の出動件数・搬送人員の推移等救急搬送の状況、救急搬送における新型コロナウイルス感染症疑い患者の判定基準及び登録医療機関リストの取扱い等について協議が行われた。（前川）

11 第51回全国学校保健・学校医大会「富山県：ハイブリッド会議」（11月14日）

「子どもたちを守り、はぐくむ」をテーマに富山県医師会の担当で開催された。午前は、からだ・こころ(1)～(3)、耳鼻咽喉科、眼科の5つの分科会及び富山大学医学部小児科学の種市尋宙先生による緊急メッセージ「新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守るために～本当の敵はどこにいるのか～」、午後は、開会式・表彰式に続き、「健全な学校生活にむけて～医療と教育の連携～」をテーマとしたシンポジウム、富山市ファミリーパークの石原祐司園長による特別講演「神の鳥、ライチョウを未来へつなぐ」が行われた。（今村、河村、縄田）

12 第156回生涯研修セミナー（11月15日）

金沢大学理事/医学部腎臓内科の和田隆志教授による「超高齢社会の腎臓病一病態と最新治療」、札幌医科大学医学部遺伝医学の櫻井晃洋教授による「がん診療と遺伝子―新しい遺伝性腫瘍の考え方―」の講演2題及び「災害救護」をテーマとしたシンポジウムを行った。参加者55名。（加藤）

13 中国四国医師会連合医事紛争研究会「Web 会議」（11月15日）

本県提出の「コロナ禍における応召義務等について」のほか、勤務医賠償責任保険、医療事故調査委員会の取組み等、各県からの6議題について協議し、医師賠償責任保険での刑事事件のカバーについて日医へ要望を行った。（郷良）

14 中国四国医師会連合勤務医委員会「Web 会議」（11月15日）

委員長選出、経過報告の後、各県から提出のあった「新型コロナウイルス禍における勤務医の処遇と PCR 検査について」、「日本医師会の勤務医会の存在感をいかに出していくか」等4議題について討論を行った。（中村）

15 山口県母子保健対策協議会不妊相談専門委員会（11月16日）

県立総合医療センターの「女性のなやみ相談室」内に設置された「不妊専門相談センター」及び県健康福祉センターにおける令和元年度の相談実績、不妊治療費助成事業の助成実績、「不妊を考える集い」のコロナ禍による開催中止について報告があった。その後、来年3月に開催する「不妊を考える集い」及び来年度の県健康福祉センターにおける不妊専門相談事業について協議した。（藤野）

16 第2回都道府県医師会長会議「Web 会議」（11月17日）

C、D の2グループによる討議及び日医の中川会長による議事総括が行われた。本県が参加した C グループは「新型コロナウイルス感染症に対する今後の医療提供体制について」、D グループは「新型コロナウイルス感染症に関する種々の検討課題について」がテーマとされた。（河村会長）

医師国保理事会 第13回

協議事項

1 新型コロナウイルス感染症検査費用の対応について

標記について協議し、自家診療については不承認とし、また、保健事業費からの助成金の支給を行わないことを決定した。

2 自家診療承認申請について

1 件について協議、不承認。

3 傷病手当金支給申請(1件)について

1 件について協議、承認。